

講義名称	子どもと健康	担当教員名	上村 孝司
科目群	専門科目		
科目区分等	保育の内容・方法に関する科目	単 位	1
対象学年次	2年・秋学期	ナンバリング	

授業のキーワード	健康、安全、乳幼児期、発育発達
授業の概要	領域「健康」の指導に関する専門的事項(乳幼児の健康、心身の発達と基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達と身体活動)について実践的に学び、子どもの健康的な生活を支えるための知識や技能を身に付ける。
期待される学習成果(目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し、身体の諸機能の発達と生活習慣の形成について理解する。</li> <li>・安全な生活と怪我や病気の予防について理解する。</li> <li>・乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。</li> </ul>

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方・取り組み方、評価の方法、指針や教育要領の開き方、質疑応答
2	乳幼児期の健康課題	子どもの生活と領域「健康」について学び、乳幼児期の健康課題について検討する。
3	子どもの身体の発達の特徴	子どもの心と体、子どもの体の発育と運動の発達について学ぶ。
4	乳幼児期の運動発達の特徴	未満児・以上児の運動発達の特徴と環境について学ぶ。
5	日常生活における運動(1)	保育環境としての遊具、遊具の種類と特性、様々な遊具遊びの提案。
6	日常生活における運動(2)	保育環境としての遊具、遊具の種類と特性、様々な遊具遊びの実践を検討する。
7	遊びとしての運動(1)	鬼遊び・ボール遊び・なわ遊びの提案、遊びにおける目標の設定を検討する。
8	遊びとしての運動(2)	鬼遊び・ボール遊び・なわ遊びの実際、遊びにおける目標の設定と実践方法を検討する。
9	乳幼児期の生活習慣の形成	生活習慣形成の意義を学ぶ。
10	乳幼児期の生活と食	生活リズムと食、乳幼児期の食の大切さと保育について学ぶ。
11	安全教育と危険(リスクとハザード)(1)	けが・事故の実態と予防と安全管理について学習する。
12	安全教育と危険(リスクとハザード)(2)	けが・事故の実態と予防と安全管理について事例検討を行う。
13	乳幼児期の怪我、事故、病気の特徴と予防	乳幼児期の怪我、罹りやすい病気の特徴やアレルギー疾患、応急処置の基礎を学習・実践する。
14	指導計画について(1)	年間の指導計画を作成・検討する。
15	日案、指導案について	日案、指導案の作成と検討を行う。

定期試験	課題(30%)、授業への取り組み(20%)、実践・グループワーク(50%)
授業時間外学習	日常生活から健康や安全に関して注視し、子どもの健康と安全について、自身の経験や観察等をふまえて考え、述べられるようにすること。
評価方法	課題、授業への取り組み、実践・グループワークから総合的に評価する。
使用する教科書(必ず購入してください)	幼稚園教育要領(平成29年3月告示)文部科学省 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示)内閣府・文部科学
参考文献	小学校学習指導要領(文部科学省)、その他授業内で適宜紹介